

報国寺をめぐる散策コース

以下の散策コースをめぐる、報国寺の主な見所を全て、自分のペースで楽しめます。

参拝者は山門を通過して報国寺に入り、そのまま順路に沿って苔庭を進みます。この長い庭は、森の奥深くに立ち入っていくような感覚を与えます。順路が曲がっているところで初めて、寺の竹林が見えてきます。小さな噴水のところで右に曲がって階段を上ると本堂に到着し、参拝者はここで祈ることができます。

本堂につながる順路の左には、伝統的な藁葺き屋根の鐘楼があります。その後ろには大きな銀杏の木が生えており、鐘楼に影を落としています。秋には銀杏の葉が鮮やかな黄色になり、特に美しい眺めが楽しめます。

本堂の左にある小さな建物は、竹林と報国寺の茶室への入場券を売る券売所になっています。ここで入場券を購入して、順路に沿って本堂の裏に向かいましょう。右に曲がって進むと、白い砂利と池が特徴の小さな禅宗の庭があります。階段を上って、順路に沿って右方向に進みます。すると順路が2つに分かれるので、右に進んでつる植物に覆われた丘の斜面の方向を眺めましょう。そこにある3つの洞窟に、寺の墓地であるやぐらがあります。

順路が2つに分かれるところまで戻って、今度は竹林の方に向かいましょう。苔むした石の仏塔を通り過ぎます。竹林に入ったら、石畳の順路をたどって茶室まで歩きましょう。ここで軽食で一休みするのもいいですね。

茶室を出たら、右の順路に沿って竹林を進みましょう。階段を進んで順路を辿ると本堂の正面まで戻ります。外で、左の順路を進んで、大きな桜の木を横切っていきましょう。小さな石の階段で苔庭と山門に戻ります。階段の一番下で左に目を向けると、1階に坐禅室がある2階建ての迦葉堂が見えます。凸凹の石畳を進むと、山門の正面で順路と合流して、出発地点に戻れます。